

令和 3年 1月 7日

大洲河川国道事務所

ひじかわ 5代目肱川橋の橋桁架設が始まります

国土交通省大洲河川国道事務所が整備を進めている、国道56号肱川橋橋梁架替工事において、5代目肱川橋に最初の橋桁を架設します。つきましては、報道関係者の皆様を対象に現場を開放し、工事現場を見学していただける機会を設けましたのでお知らせします。

【概要】

- 日時：令和 3年 1月14日（木）15：00～16：00（予定） 荒天中止
※当日9：00より作業を行い、上記時間頃に橋桁が橋脚に設置されます。
- 場所：大洲市中村（肱川橋橋梁架替工事現場）
- その他：2月以降に地元の方を対象とした現場見学会を予定しております。

【記者の皆様へ】

取材を希望される記者の皆様は、1月13日（水）17：00までに以下の問い合わせ先まで連絡をお願いします。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスクの着用等をお願いします。

本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.5地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト】に該当します。

【問い合わせ先】

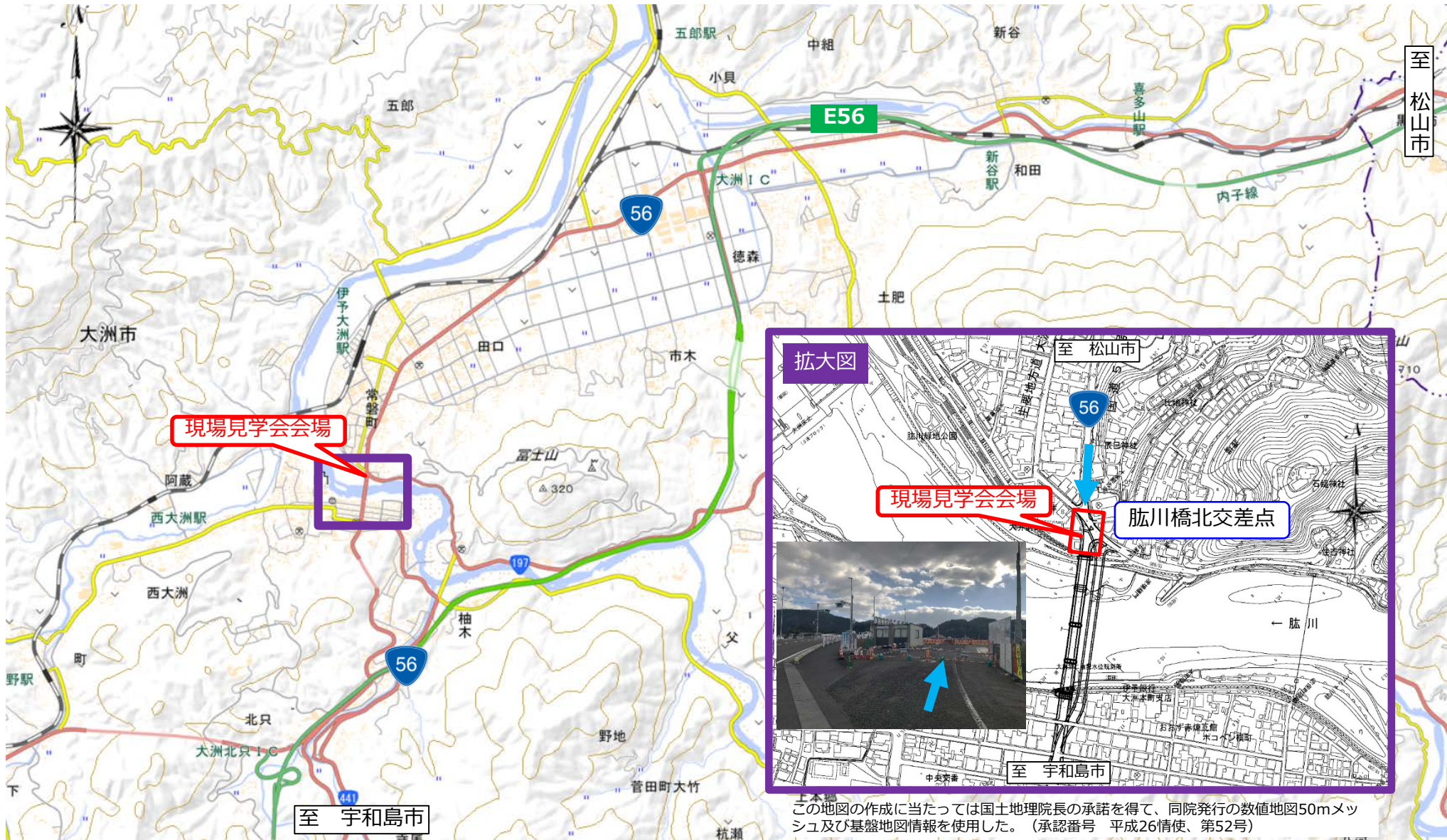
○主な問い合わせ先

国土交通省 四国地方整備局 大洲河川国道事務所 TEL：0893-24-5185（代）

副所長（道路） おおにし 大西 篤（内線205）

○工務第二課長 のがみ 野上 直樹（内線411）





肱川橋橋梁架替事業の概要

- 肱川橋橋梁架替事業は、大正2年竣工後100年以上経過した肱川橋の**大規模地震時の耐震不足の解消**や、安全・安心して通勤・通学できる**歩行空間の確保**を目的とする事業です。
- **景観に配慮した新橋の整備**による**大洲市の歴史的観光資源を活かした観光振興支援**を目的としています。

【位置図】

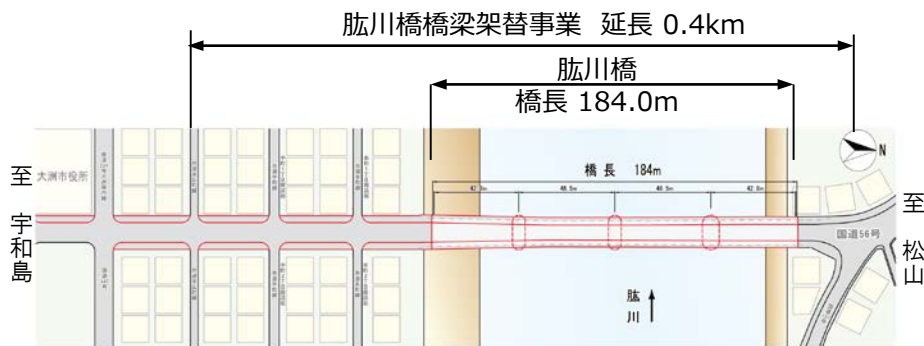


肱川橋橋梁架替

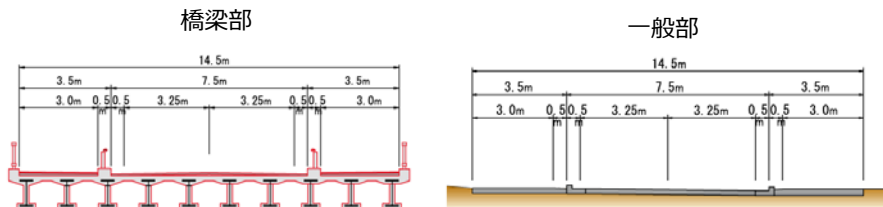
【事業概要】

事業化年度	平成21年度
事業区間	おおず おおず 自) 大洲市大洲 至) 大洲市中村
事業延長	0.4 km
橋梁名	肱川橋
橋長	184.0 m

平面図



標準断面図



～完成イメージ～



～肱川橋の歴史～

初代



大正2年9月完成。詳細は不明ですが上部工は鋼製のトラス橋で、橋脚はレンガ積みと見られます。

二代目



昭和18年頃の写真では、上部工をケーブルで吊る補強を加えています。幅員は5～6mです。

三代目



昭和36年に2車線のプレートガーダー橋に架替られ、橋脚はコンクリート製となりました。

四代目

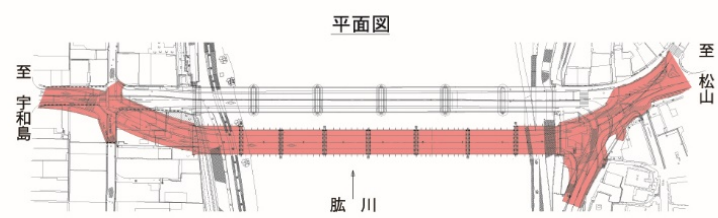


昭和42年に主桁増設によって下流側に向かって2.5mの拡幅を実施しました。

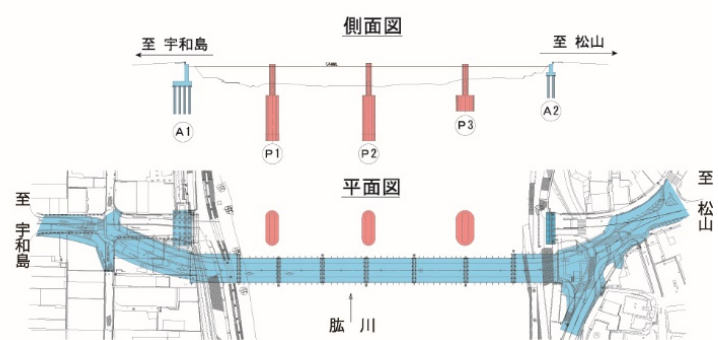
■ 施工順序

凡 例	
	工事対象
	完了

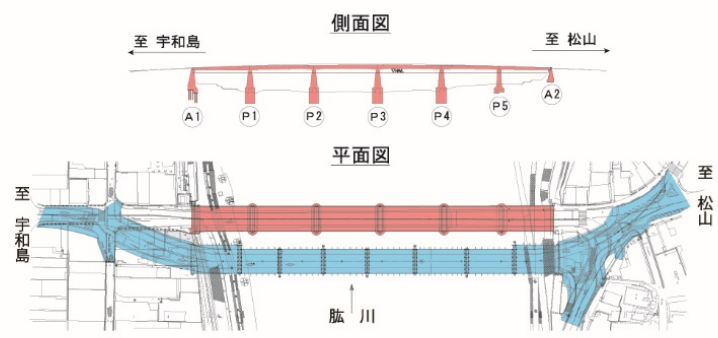
STEP1 迂回路(仮橋)設置



STEP3 新設 橋脚3基(P1~P3)設置

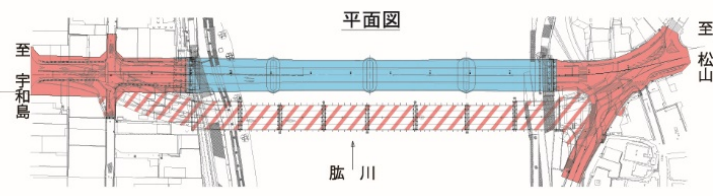
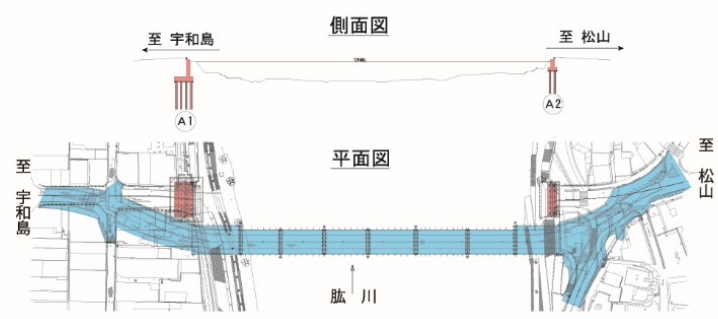


STEP2 現橋撤去(上部工、橋台2基、橋脚5基) 新設 橋台2基(A1、A2)設置



STEP4 新設 上部工

STEP5 迂回路(仮橋)撤去



今回の現場見学会

